

体育会学生の就職活動状況調査(2018年11月)

2018年12月

弊社では、体育会学生の就職活動状況を明らかにするため、「アスプラ2020」利用中の学生にアンケートを行いました。

【調査概要】

調査対象：『アスプラ2020』に登録している体育会学生

回答件数：241件

調査方法：インターネット調査

調査期間：2018年11月7日~14日

【TOPICS】

▽OBOG訪問を「これからしたい」と考えている学生は約7割

▽体育会学生の約4割がインターンシップに参加

▽現時点での志望業界は「食品・飲料」「総合商社」「スポーツ」

<本資料について>

本資料に掲載のデータ、図版等の無断転載を禁じます。

資料のご利用やご質問等に関しては、下記までご連絡ください。

<本件に関するお問い合わせ先>

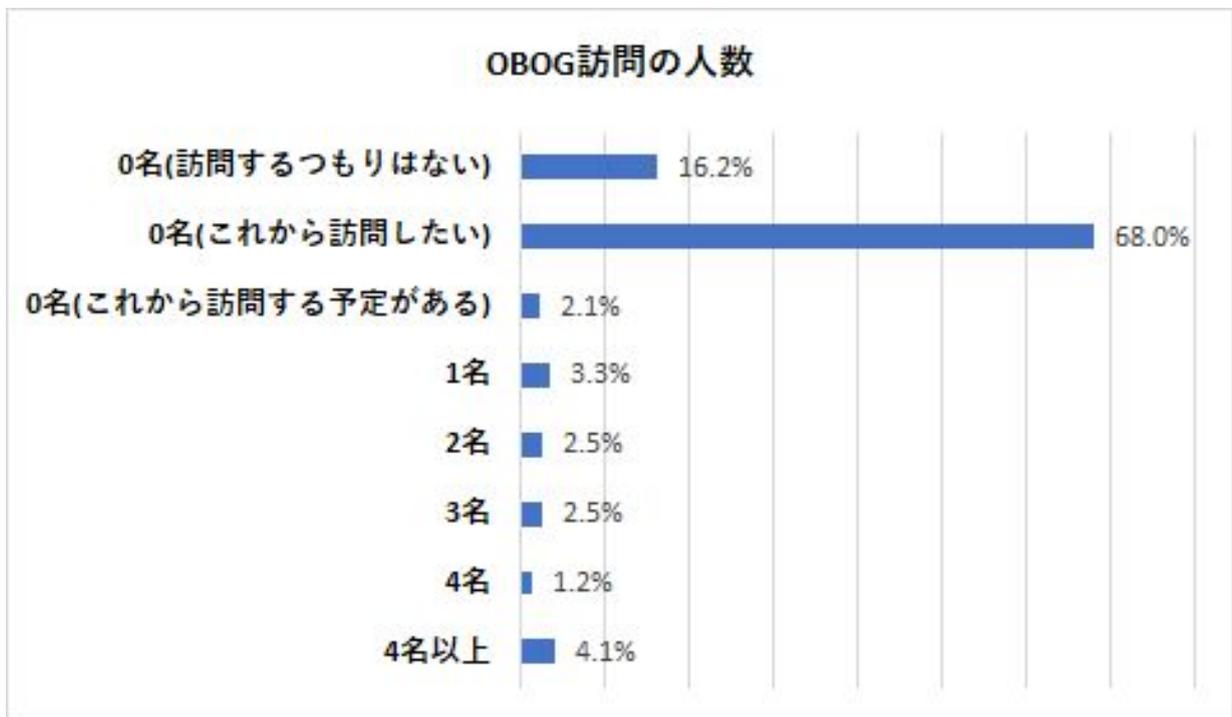
株式会社アスリートプランニング 広報担当

Tel: 03-5937-8460 (受付時間：9:00~18:00/土日祝日を除く)

Mail: athlete2020@asupura.com

◆OBOG訪問の状況

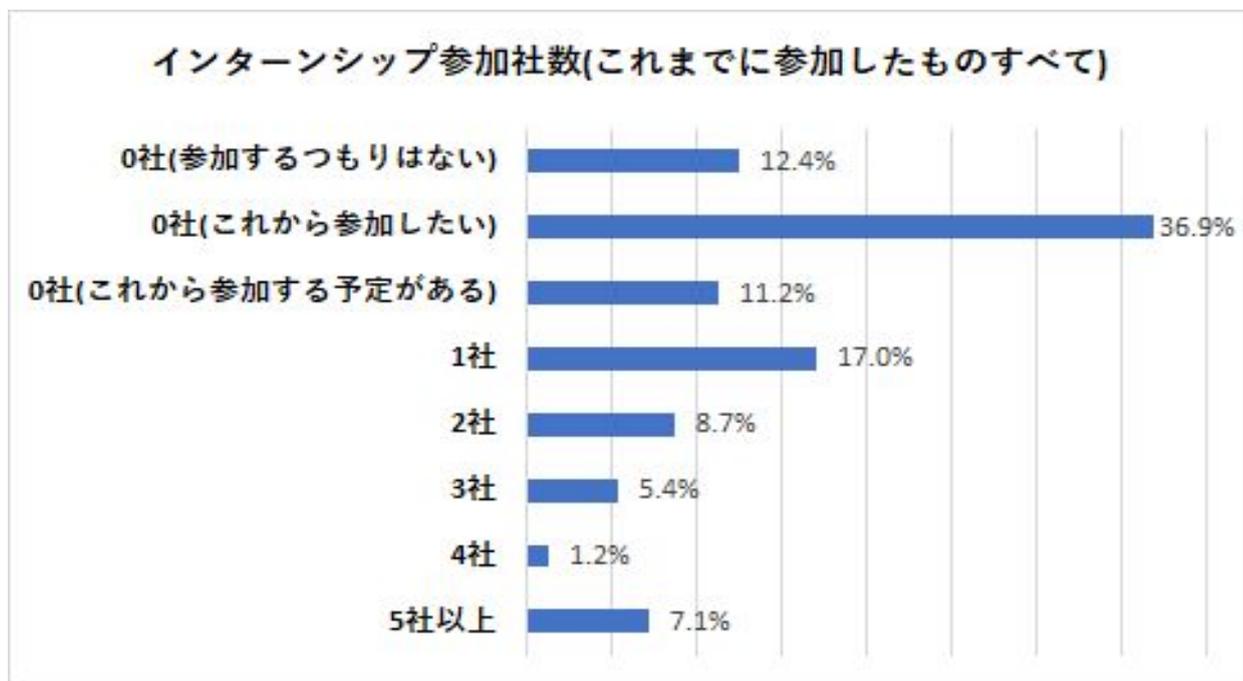
他大学・他部活を含む、これまでOB/OGに会った人数は、1人以上は15.7%、「これから訪問したい」と回答したのが68.0%でした。「部活の先輩が就職した企業の話聴く」というスタイルが多い、という声が多く、部活動の先輩・後輩のつながりが就職活動でも利用されていることが考えられます。また、「働くイメージができないので、社会人の先輩に聴く」という学生も少なくありません。部活動によっては、先輩の就職先が共有されていることが影響を与えていると考えられます。

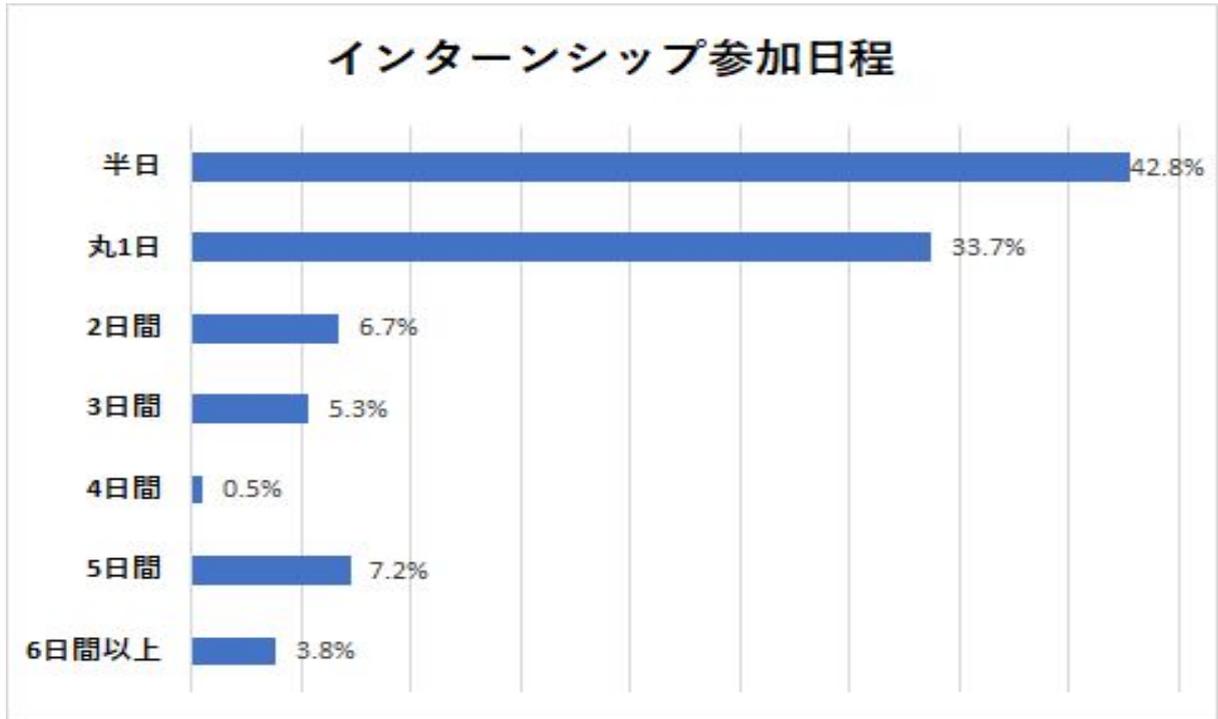


◆インターンシップの参加状況

調査実施時(11月7日~14日)までにインターンシップに1社以上参加したことがある体育会学生は39.4%となり、「これから参加する予定がある」と回答した学生も含めると50.6%の学生がインターンシップに参加する、という結果が出ました。大学生全体でインターンシップ参加経験がある学生が86.2%であること(※)と比べ、参加率には大きく差が見られますが、過去の意識調査と比べると、インターンシップの参加に前向きな体育会学生が増えているということが分かります。「企業や業界の理解が深まる」という理由からインターンシップに参加をするという声を多く聞きますが、部活動との両立を前提とした時にスケジュール調整が難しいということもあり、参加できるプログラムに制限があるということに課題を感じている学生が多いという側面もあります。

また、参加したインターンシップの日程について「半日」「丸1日」と回答した学生が最も多いという結果が出ました。こちらについても部活動との両立を考えた時に、長期のスケジュールのインターンシップは部活動に影響を及ぼすと考え、期間が短いインターンシップに参加する学生が多くなっていることが考えられます。





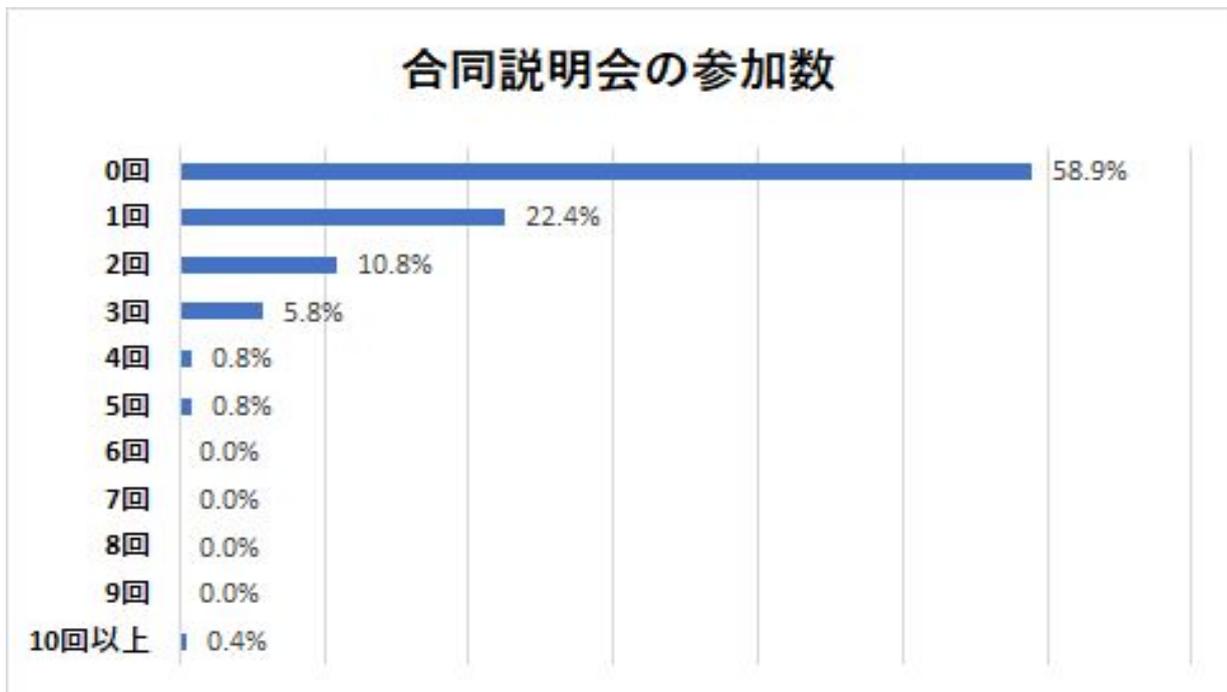
※ 『キャリアス就活 2020 学生モニター調査結果(2018年12月発行)』

◆就職活動状況

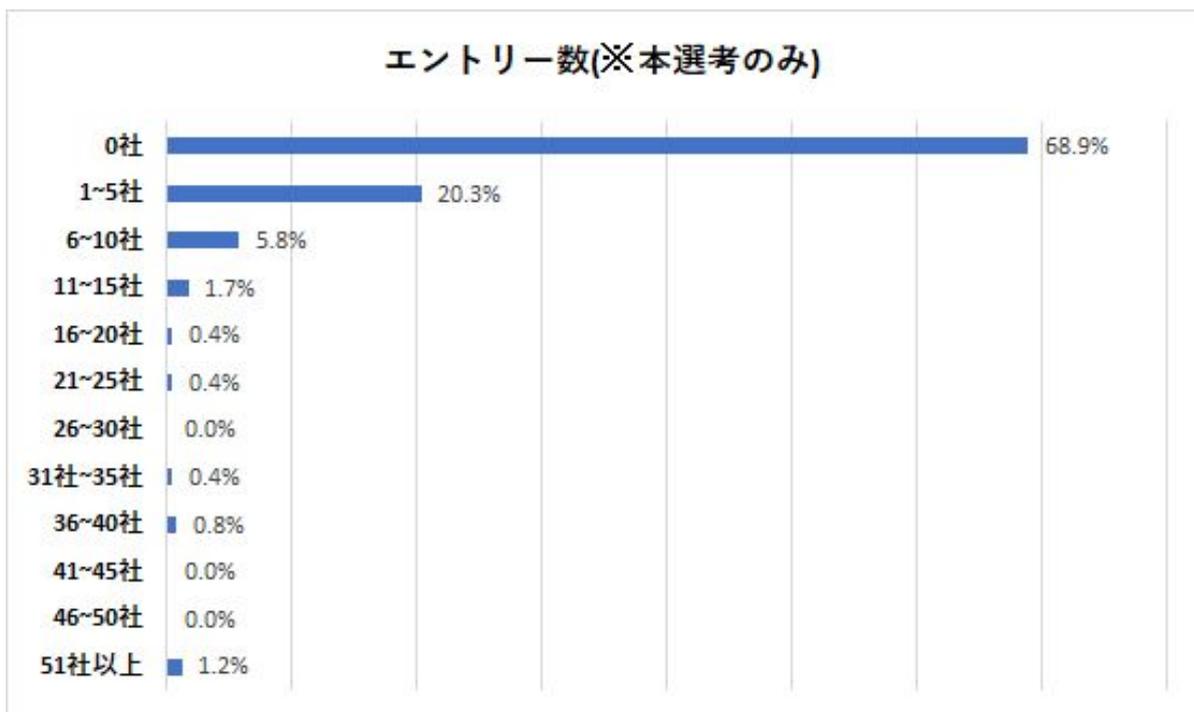
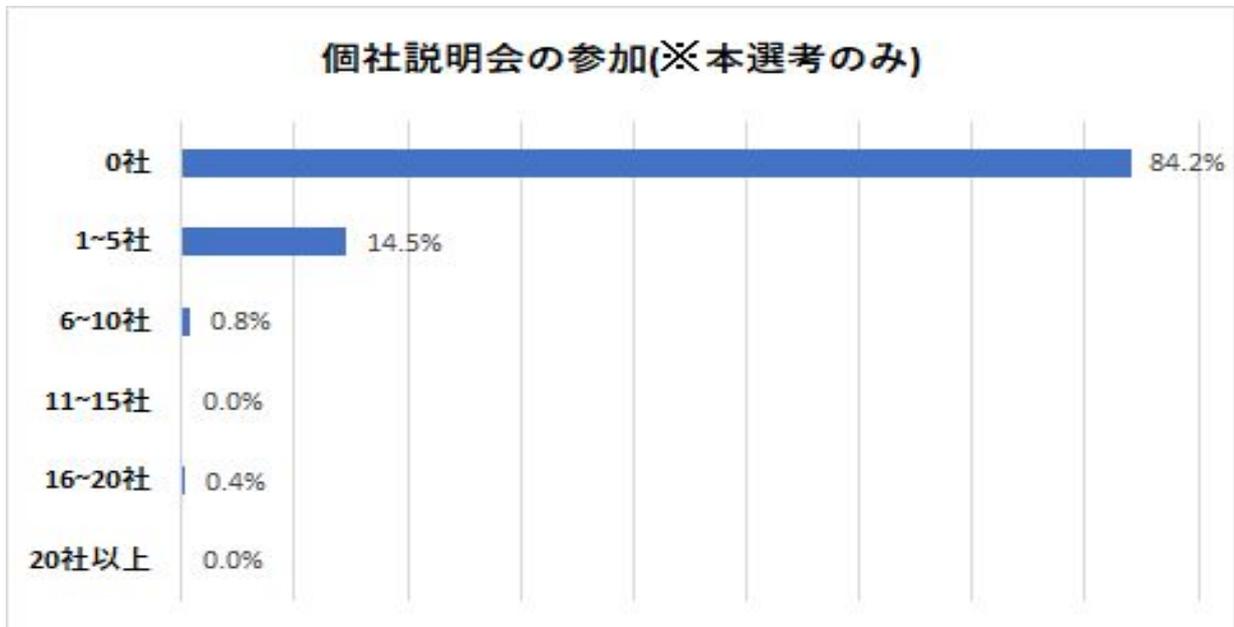
合同説明会や個社説明会に参加・予約をする学生の割合は、調査実施時(11月7日~14日)には「0社」と回答する学生が大半を占めています。実際に、現時点の体育会学生は「就職活動に向けて何からしたらいいかわからない」という声も多く出ています。

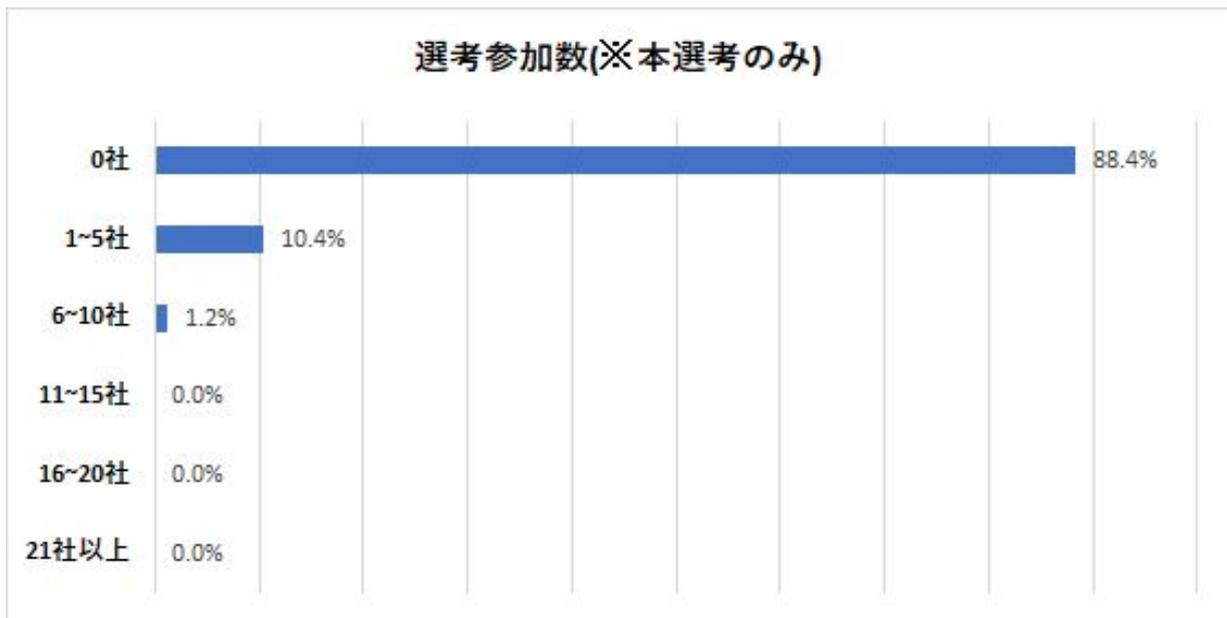
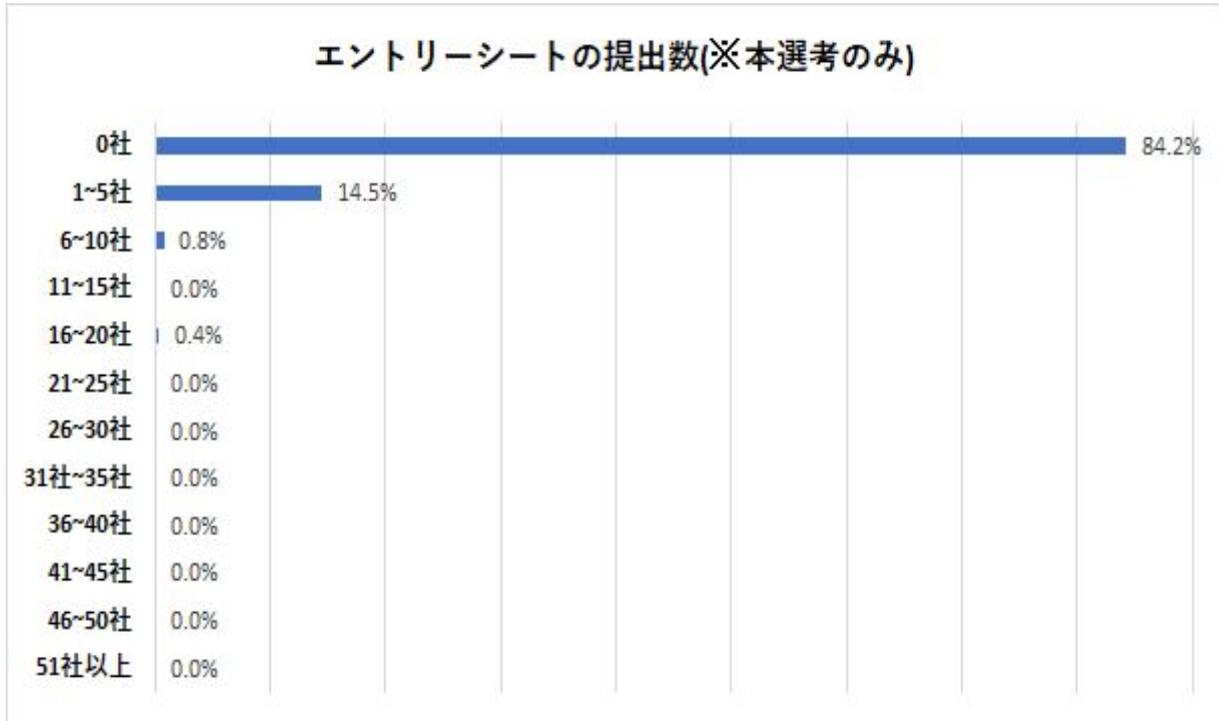
全体的には就職活動の早期化の傾向がありますが、体育会学生においては、インターンシップ参加者が増えているために動き出しは早期化しているものの、選考に進むスピードは変わらないということが考えられます。

早期に開催される合同説明会では、インターンシップの案内を行う企業の参加が多いことから、「就職活動スタートにあたり、まずはインターンシップに参加した方が良いと思うから合同説明会に行って情報を集める」という学生が多いようです。



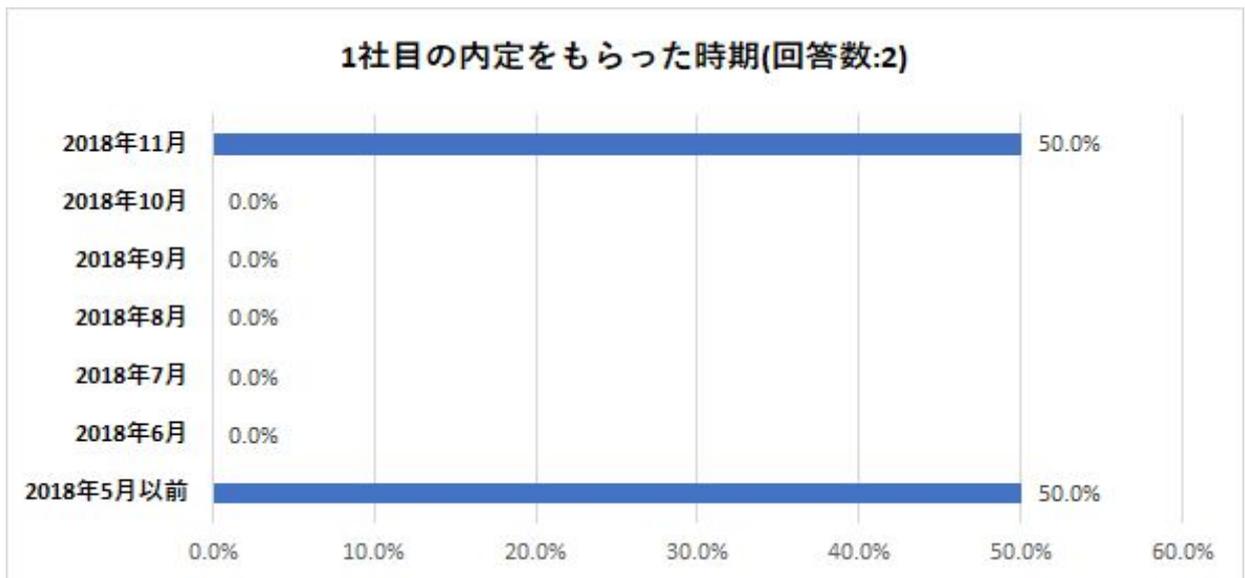
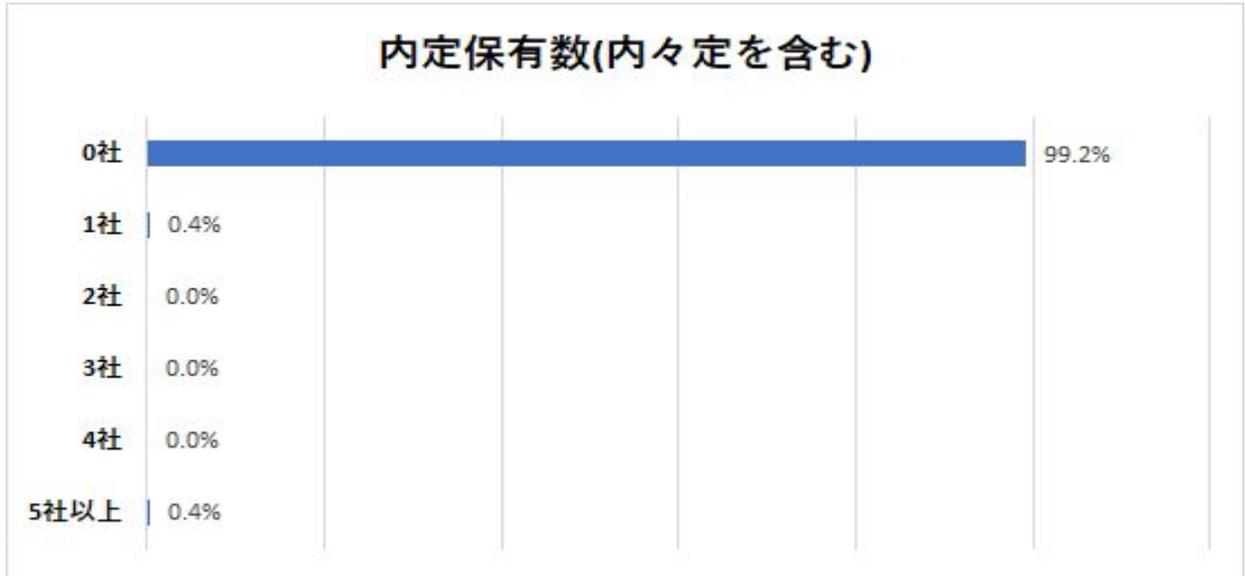
全体としてはまだまだ本選考へ進んでいる学生は少ないですが、個別説明会への参加や、エントリーシートを提出している就職活動に活発な学生も約20%ほどいるという結果が出ています。選考に進んでいるという学生が志望している業界は「総合商社」「食品・飲料」「金融」が多く、大手人気企業への入社を希望している学生ほど早くから動き出しているようです。また、一般的に選考が早い「TV・広告」業界を志望している学生は、エントリーシートの提出は複数社あるものの、説明会などへの参加数は少ないという結果が出ており、本命企業の選考が始まっているために他の企業へのエントリーをする余裕がないということが考えられます。



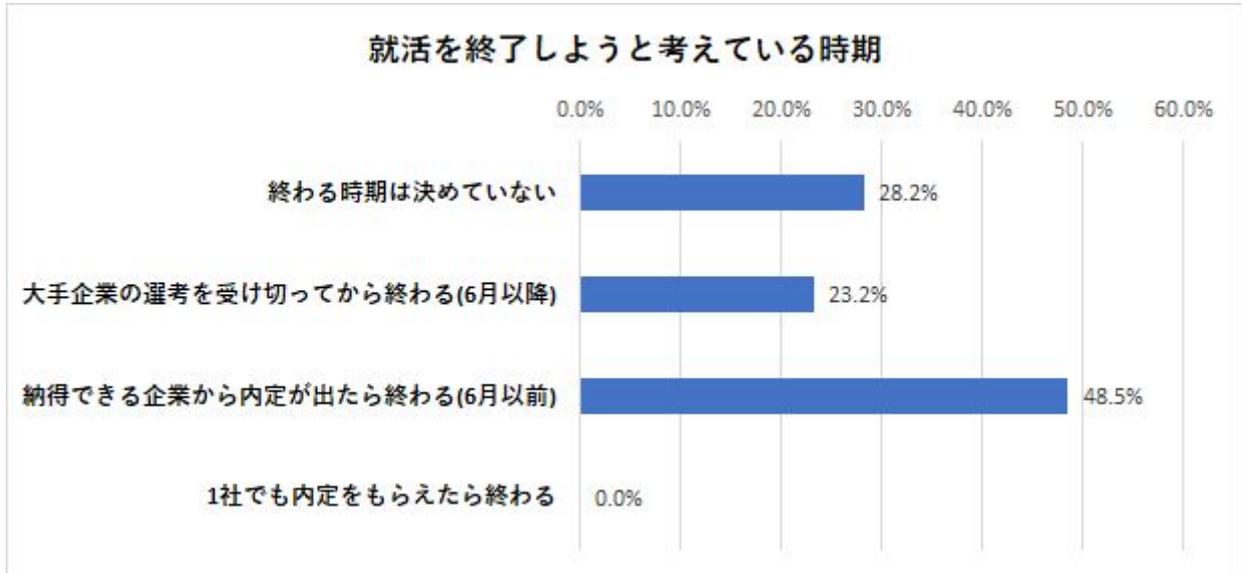


現時点では、内定を持っている体育会学生はほぼいないという結果が出ています。

すでに内定(内々定含む)を持っているという2名の学生は現役の3年生であり、現在も就職活動を続けています。前述にある通り、大手人気企業への入社を希望しているために、早期から動き出していたようです。



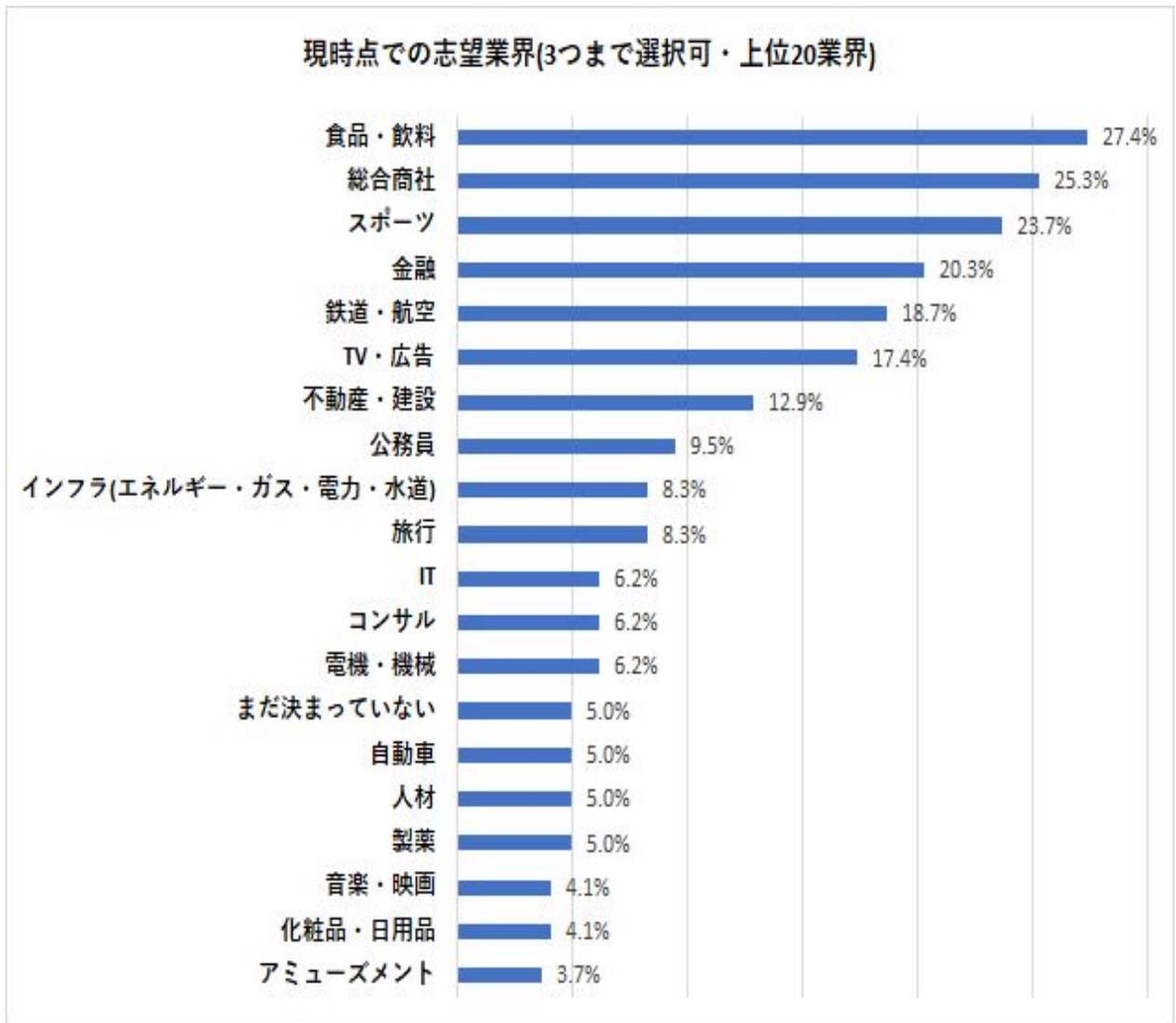
就職活動を終了しようと考えている時期について、「納得できる企業から内定が出たら終わる」と回答する学生が最も多い結果となりました。部活に専念するためにすぐ終わらせる、という考えより、納得するまで就職活動を続けたい学生が多い、ということが分かります。一方で、部活動の大きな大会など、4年生になって力を入れて取り組みたい時期に選考が重なってしまうということから、いつまでも就職活動を続けるというわけではなく、終わられるのであれば6月以前に選考を終わらせたいと考えている学生が多く回答していることが考えられます。



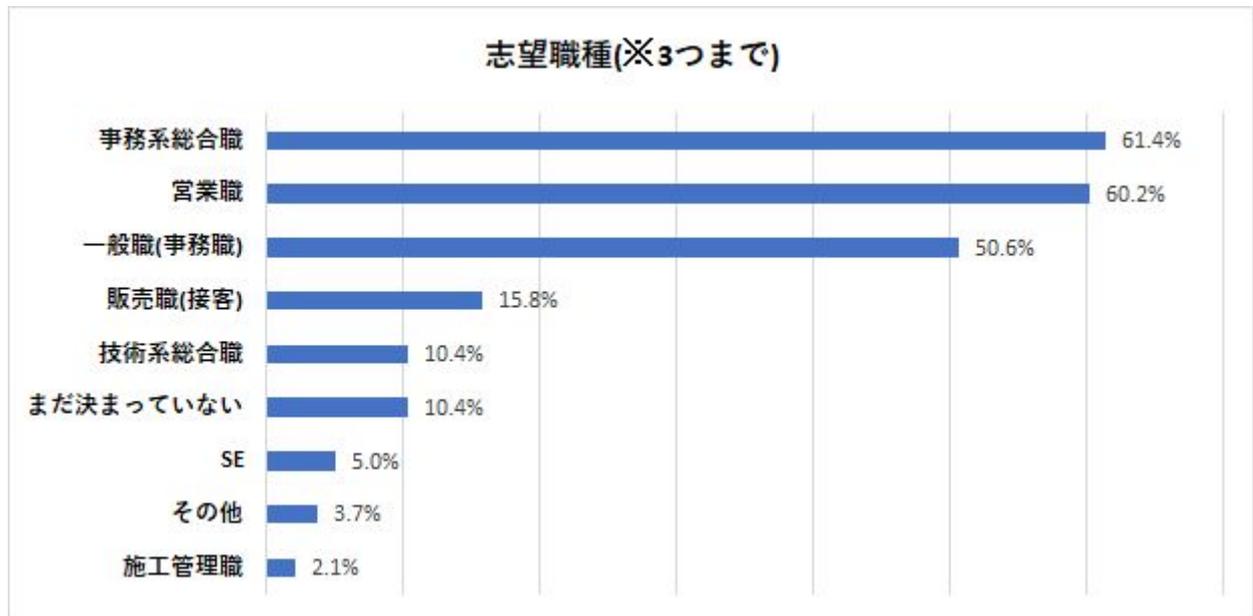
◆志望する職種・業界

現時点での志望業界を見ると、「食品・飲料」が27.4%で最も高い結果となりました。次いで「総合商社(25.3%)」や、「スポーツ(23.7%)」が多く選ばれました。

部活動に専念してきている体育会学生は、これまでの人生で関わりのある仕事を選ぶ傾向が強く、それが、身近な業界を選んでいる結果に出ています。



志望職種について、「事務系総合職(61.4%)」「営業職(60.2%)」「一般職(事務職)(50.6%)」が上位を占めました。「技術系総合職」「SE」が他と比べて低い数字の結果が出た要因として、「専門知識を持っていないからできない」と判断する学生が多いという理由が想定できます。学生の声として「自分が活躍できる仕事といたら営業だと思う」「人と関わる仕事がしたい」と答える場合が多く、そのため「事務系総合職」「営業職」が人気であると考えられます。



企業選びの軸では、「福利厚生が手厚い/安定している【安定性】」が59.3%で最も高い結果となりました。次いで「土日休みである/休みが多い/残業が少ない【余暇】(38.3%)」や、「チームワーク重視の社風/社内行事が盛ん【社会的交流性】(37.9%)」が選ばれています。「安定性」を選ぶ理由として、「就職した後も長く働きたい」「スポーツを続けたい」という学生が多いことがあげられます。就職する企業への忠誠心や帰属意識が強く、また、今まで活躍していた部活と同じように活躍できる会社を志望する傾向があると考えられます。

